

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2019年3月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記をお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2021年2月号

特集

妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコツ

助産師外来や母乳外来、両親学級の間などで、妊婦たちから相談を受けると思います。その時、どのような声掛けや態度をとれば、信頼を得ることができるのかに着目し、コツをご紹介します。カウンセリングの基本と、現場での具体例から解説します。



2021年1月号

特集

産後の母子を支える想いを聴く

産後の母子を主な対象とした支援を行っている助産師の方々に、サービスを開始し、携わる中での想いを伺いました。産後ケアに携わる方、今後携わろうとしている方に対して、先駆者の知見、そして情熱を共有し、特集を通じてこれからの産後ケアを考えます。

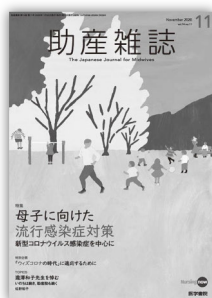


2020年12月号

特集

臨床現場での“触れる”の今後を考える

新型コロナウイルスの世界的な蔓延で、人との距離を取らざるを得なくなりました。この事態を助産の現場ではどう捉え、どのような代替策を講じているのか、さまざまな工夫と、妊産婦や家族に安心を届けている実践をご紹介します。



2020年11月号

特集

母子に向けた流行感染症対策
新型コロナウイルス感染症を中心に
感染症が蔓延しやすい季節を前に、流行感染症から母子を守るためには、どんな対策を打てば良いでしょうか？ 特集では「注意すべき流行感染症」「感染症治療薬の母子への影響」などのテーマの記事を取り上げ、その疑問に応えます。



2020年10月号

特集

What's new? 最新情報をお届けします!

『乳腺炎ケアガイドライン2020』ダイジェスト

特集は、改訂された『乳腺炎ケアガイドライン2020』の解説です。どこが変わって、何を新しくしたかなどのポイントを挙げました。乳腺炎は高頻度で起きる炎症性疾患です。本ガイドラインは、ケアの標準化を目指す工夫がされています。



2020年9月号

特集

助産師が学び、実践したい骨盤ケア

骨盤周囲の筋肉を損傷し、出産後、尿・便失禁、骨盤臓器脱といった症状を経験するお母さんは少なくありません。これらの疾患の予防・回復に、大きな役割を発揮するのが骨盤ケアです。特集では骨盤ケアを学ぶ意義、実践、セルフケアのポイントに触れています。

2020年 特集

- 8月号 胎児の病気が見つかった時 妊婦と家族のどんな選択も支える助産師に
- 7月号 災害時に母子を支える体制づくりを目指して
- 6月号 ①「助産」とは何か 改めてその専門性を問う／②助産師の新たなアプローチ 子どもを持つ女子受刑者の出所後も含めた支援とケア
- 5月号 妊娠期からできる虐待防止の方策 「気になる妊婦」を見つけるための連携と支援
- 4月号 妊娠糖尿病 妊娠期から始める女性の健康支援
- 3月号 助産師が活用したい、出産・育児のためのマインドフルネス
- 2月号 外国人妊産婦のケア転換期 在住者・旅行者を受け入れるための“乗り越え課題”とは